施設概要



■敷地の広さ：約6,600平方メートル
■収集エリア：三好市・東みよし町
■処理できる能力：1日に60キロリットル
　◎し尿……1日に13キロリットル
　◎浄化槽汚泥……1日に47キロリットル
■水処理方式：膜分離高負荷脱窒素処理方式+高度処理方式
■資源化方式：助燃剤化方式
■放流先：吉野川
■建設にかかった期間：令和4年（2022年）4月～令和7年（2025年）8月

大切な川を汚さないために、水質の検査と処理の状況を毎日監視しています



中央監視室
処理の流れや機械の運転状況を監視します。



水質試験室
水質を分析して処理状況を確認します。

メモ

みよし広域連合浄化センター
〒779-4806 徳島県三好市井川町西井川906番地
Tel. 0883-78-2167

し尿・浄化槽汚泥の流れをみてみよう！

ようこそ！ みよし広域連合浄化センターへ

この施設は三好市・東みよし町にある
みんなの家や学校などから発生した
し尿と浄化槽汚泥を処理しています。
また、循環型社会に貢献している施設です。

施設の中ではどんなことが
行われているか、
見に行ってみましょう。



みよし広域連合浄化センターの役割

みよし広域連合浄化センターに運ばれてきたし尿・浄化槽汚泥は、汚れを取り除いてきれいな水にしてから川に流します。
処理の途中で出る汚泥はしぼって助燃剤（燃えやすくしたもの）にして、ごみ処理施設で有効利用します。

汲取りトイレにたまったうんちやおしっこのことを**し尿**、水洗トイレや台所、お風呂からの排水を処理する浄化槽にたまった汚れを**浄化槽汚泥**といいます。

汚れのもととなる固まりは、水分をしぼってごみと一緒に燃やす**助燃剤**となり、有効利用されます。

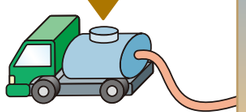
みよし広域連合浄化センターではし尿・浄化槽汚泥を1日**60**kL（一般的なお風呂の**300**杯くらいです）きれいな水に生まれ変わらせます。

し尿と浄化槽汚泥がきれいな水になるまで



三好市
東みよし町





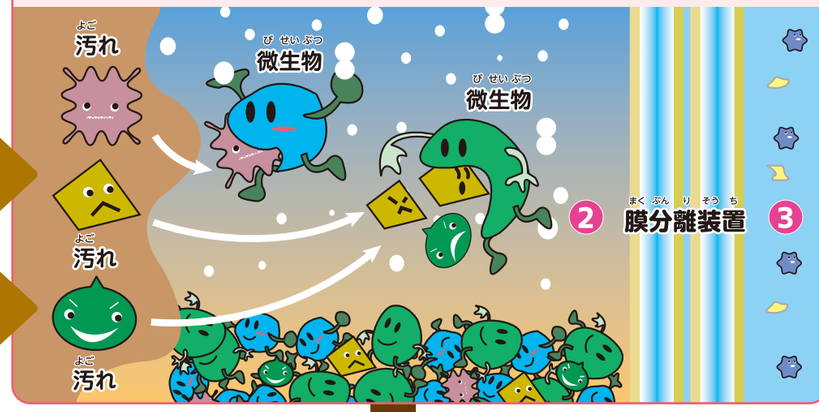
受入・貯留設備

し尿・浄化槽汚泥はバキューム車で集められて、みよし広域連合浄化センターに運ばれてきます。
し尿・浄化槽汚泥に混ざったごみを取り除きます。



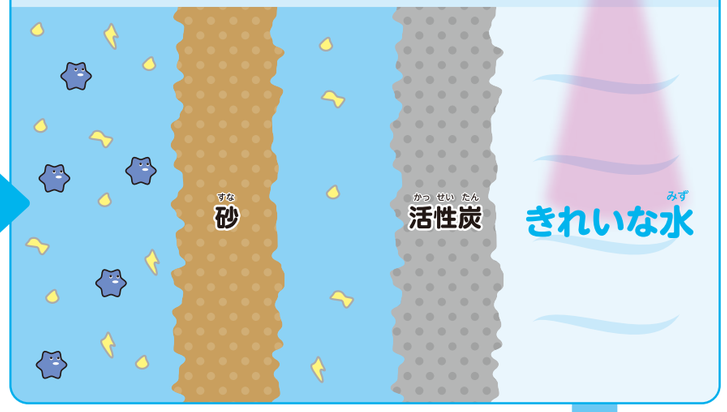
主処理設備（膜分離高負荷脱窒素処理設備）

微生物が汚れを食べることで、水がきれいになります。また、膜分離装置により微生物が食べられない細かい汚れを分けています。微生物は汚れを食べることで、どんどん増えていきます。ふえた微生物は汚泥脱水機に送られます。



高度処理設備／消毒・放流設備

微生物が食べられなかった汚れを砂と活性炭で取り除き、最後に紫外線で消毒してから川に放流します。



4 放流水

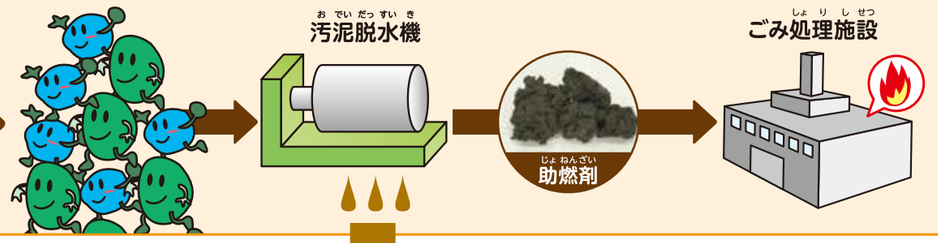


吉野川

汚れを食べてふえた微生物（汚泥）

資源化処理設備

汚れを食べてふえた微生物（汚泥）は汚泥脱水機で水分をしぼって助燃剤にし、ごみ処理施設で有効利用します。助燃剤は燃えやすいので、ごみ処理施設の燃料が節約されます。



しぼって出た汚れた水

脱臭設備

場内で出た臭いは微生物と活性炭で取り除き、きれいな空気にして大気に放出します。

